

組織部情報

No. 4

2016年

6月22日

JR 東労組本部

沖縄県民と連帯する6・19東京シンポジウムの記事が 沖縄タイムスに掲載されました！

青年部、東日本労連の仲間を中心に180名が参加しました。

【東京】JR東日本労働組合（吉川英一中央執行委員長）は19日、都内で「沖縄県民大会に連帯する6・19東京シンポジウム」を開いた。元米兵による暴行殺人事件に抗議を示すとともに、沖縄の現状や日米地位協定の問題点などについて共同通信や沖縄タイムスの記者から報告を受け、学習を深めた。

基地や地位協定考える 県民大会と連帯 都内でシンポ



同労組は約5万人の組合員があり、企業単体の組合としては国内最大規模。平和の問題にも積極的に取り組んでおり、中でも沖縄の米軍基地問題については約30年も学習を続けている。この日は、共同通信の石山永一郎編集委員が、第1次裁判権や被害者への賠償、米軍の管理権など、日米地位協定上の問題点を解

沖繩での県民大会に合わせ基地問題や日米地位協定の問題について学習したJR東日本の東京シンポジウム19日、都内のアットビジネスセンター東京駅八重洲通りで、日米地位協定は56年、一字一句変わっておらず、特殊な協定になっている。運用改善もいいが、環境問題への対応を含め現代の課題を踏まえた改正をすべきだ」と強調した。

沖繩タイムス東京支社の宮城栄作報道部長は、沖繩の戦後史を振り返り、海兵隊撤退を求めるに至った沖繩の状況を説明した。

青年部を中心に180人が参加。「沖繩は基地で食ってるなどのデマにどう説明するか」「沖繩の問題ではなく全国の問題と捉え解決に向け連帯していこう」など活発な質疑が交わされた。

2016年6月21日 沖縄タイムス掲載

オール沖縄から、オールジャパンへ 連帯してたたかおう！